

大雨の時など避難の際に備えて、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。

## 「土砂災害」とは？

大雨や地震などによって、山肌やがけが崩れたり、土砂や石混じりの水が谷や川から流れ出すことによって、人命や財産などが脅かされる自然災害です。主なものとして、「土石流災害」、「地すべり災害」、「がけ崩れ災害」などがあります。

また、恐ろしい土砂災害を防止するために、現在さまざまな対策が行われていますが、それだけでは十分に災害を防ぐことはできません。被害を最小限におさえるためには、ひとり一人が気象情報などに注意して早めに避難することが大切です。

### 土石流



谷や斜面に貯まった土・石・砂などが梅雨や台風などの集中豪雨による水と一緒に流れて、一気に流れ出てくるのが「土石流」です。流れの速さは20～40 km/hという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させています。

### 地すべり



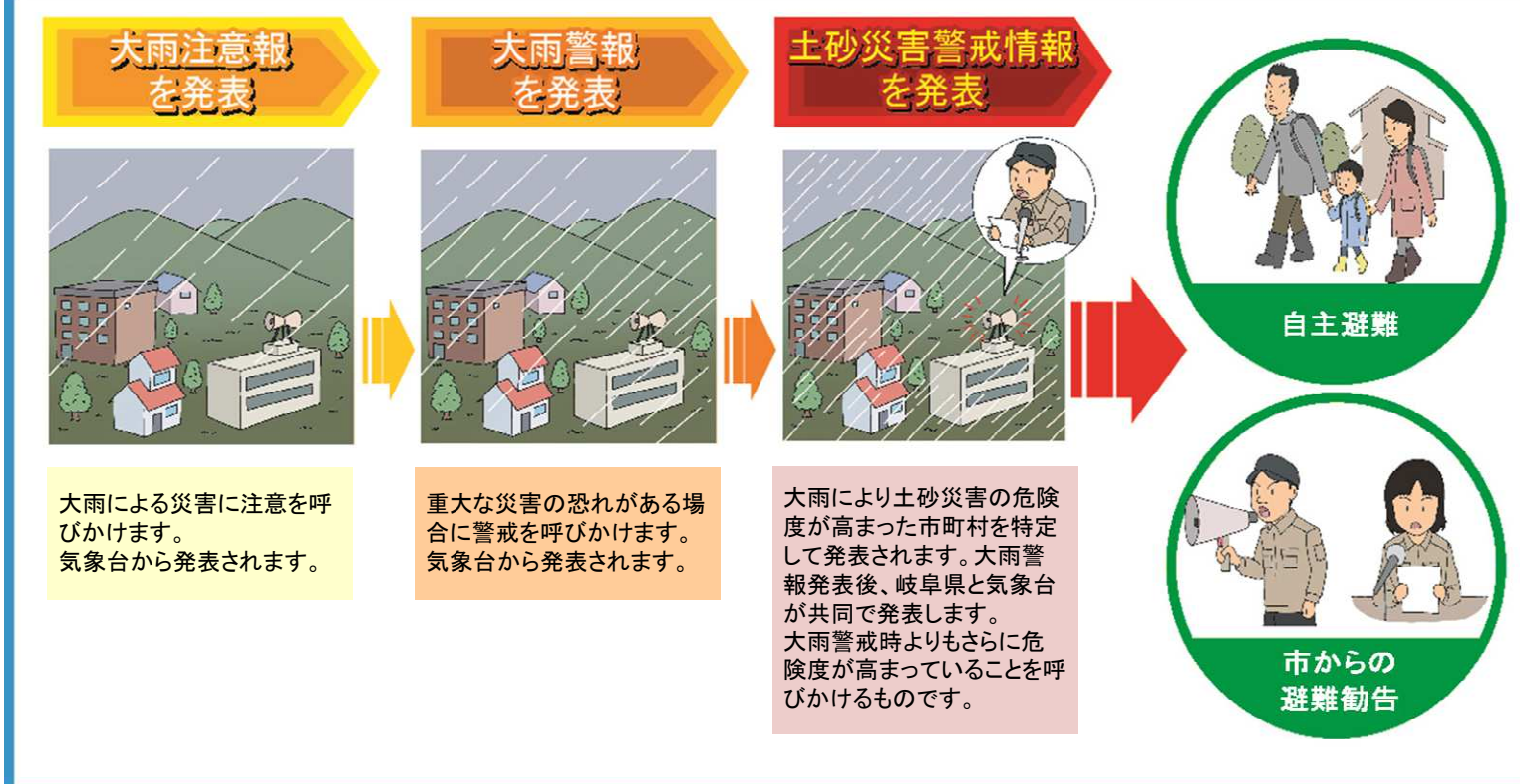
比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層など滑りやすい面が地下水の影響などで、ゆっくりと動き出す現象が「地すべり」です。一般的に広範囲に及び移動土塊量が大きいため甚大な被害を及ぼす可能性が高いです。

### がけ崩れ



地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちるのが「がけ崩れ」です。ひとたび人家を襲うと逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっています。

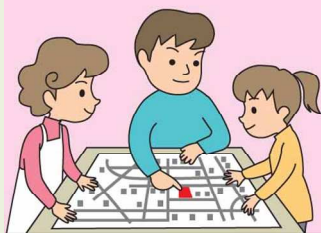
## 土砂災害警戒情報発表までの流れ



避難準備段階や大雨などで外に逃げるのが危険な場合は、建物内避難が有効です。その際はがけと反対側のなるべく上の階に避難しましょう。がけ崩れは、雨がやんだ後に発生することもあるので、数時間は注意が必要です。

**日頃の備え** 土砂災害から身を守るために、普段から災害に備えておくことが大切です。

### 避難経路の確認



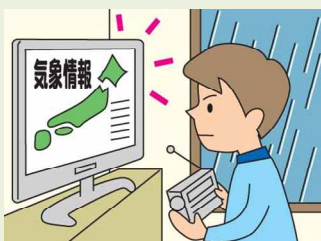
危険な場所を知り、洪水・土砂災害によって被災する恐れのない避難路。避難所をあらかじめ把握しておきましょう。

### 避難にかかる時間の確認



普段から避難する際に時間がかかる災害時要援護者（お年寄りや身体が不自由な方など）に声をかけ、すぐに援助できるようにしておきましょう。

### 防災意識の向上



長雨や大雨で危険と思ったら、早めに避難しましょう。素早い避難行動につなげるために日頃から土砂災害に関する知識を得るようにしましょう。

### 危険箇所の確認



土砂災害のおそれがある場所を把握し、自分の家のまわりに危険な場所がないか調べておきましょう。

## 雨量のめやす

1時間雨量	人が受けるイメージ	災害発生状況
10～20mm	ザーザーと降る。	長く続くときは注意が必要。
20～30mm	どしゃ降り。	側溝や下水、小さな川があふれることがある。
30～50mm	バケツをひっくり返したように降る。	地すべり・がけ崩れが起きやすくなる。
50～80mm	滝のように降る。	土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80mm以上	息苦しくなるような圧迫感を受ける。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、嚴重な警戒が必要。

## 災害用伝言ダイヤル

災害発生時は、安否確認、見舞い、問い合わせなどの電話が急激に増加し、電話がつながりにくい状況が数日間続きます。NTTでは、この様な状況の緩和を図るため、災害時に限定してご利用可能な「災害用伝言ダイヤル(171)（電話サービス）」を提供しています。

**伝言の録音方法**  
1 7 1 → 1 → 電話番号(市外局番から) → 伝言を録音

**伝言の再生方法**  
1 7 1 → 2 → 電話番号(市外局番から) → 伝言を再生

## 雨量や土砂災害に関する情報の入手

・注意報、警報が発令されている場合や土砂災害の危険度が高まったことをお知らせする土砂災害警戒情報が発表されている場合や、現に大雨が降っている等の場合は、テレビやラジオ等で気象情報を確認しましょう。  
・インターネットを使うと、より詳しい気象情報を確認できます。

**ぎふ土砂災害警戒情報ポータル**  
携帯サイトはこちらです →   
<http://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp>  
土砂災害危険度情報や雨量情報が確認できます。

**岐阜地方気象台**  
<http://www.jma-net.go.jp/gifu/>  
警報・注意報の発表状況や雨量情報が確認できます。